

## 減収減益なるも、高い利益率を堅持。次期 iPhone 発表と、24年以降に向けた Apple VisionPro の生産計画が焦点。

### ナスダック | IT 通信機器 | 業績フォロー

BLOOMBERG AAPL:US | REUTERS AAPL.OQ

**業績サマリ** : 8月3日発表の2023/9期3Q実績は、売上高が前年同期比で1.4%減、純利益は同2.3%減の減収減益となった。業績低下要因は製品売上の低調であり、ホームウェアラブル製品を除いて売上高は前年割れとなった。一方、サービス事業の収益は過去最高を更新し、同8.2%増となった。同セグメントの粗利率は70.5%であり、同社の利益率の継続的な改善に貢献している。

**新製品発表** : 2023/9期2Qの終盤にあたる6月のイベント (WWDC) にて新製品を発表。同社初となるMR (複合現実) 端末であるApple VisionProとMac新機種が発表された。さらに、各種端末用の新OSのリリースの予定や、VisionProアプリ用のディベロッパー向け開発ツールなども公開された。

8月30日、Appleは自社のサイトで9月13日午前2時 (JST) の新イベントを告知した。収益軸であるiPhoneの、次期モデル発表が期待される。

**投資論点・リスク** : 現在の株価は通期業績が減収減益で着地することを織り込んでいると考えられる。今後の株価は次期iPhoneへの反応次第となるだろう。加えて、来年発売予定のVisionProの出荷可能台数にも注目が集まっている。主要部品となるマイクロディスプレイ (OLEDoS) の量産体制や歩留まりについて問題を抱えていると推測されており、株価軟化要因の一つと見られる。

VisionPro は予定価格 3,499 ドルという同社の中では高価格帯製品に位置する一方、端末単独でゲームや映像を楽しむことができるため、高性能ゲーミング PC 需要を奪える可能性がある。アプリ開発を行うディベロッパー層 (プロユーザー) の取り込みが同製品売上とサービス収益の成長の肝要となるだろう。

昨今の AI やメタバースのブームにあっても、Mac は NVIDIA 製 GPU に対応していないために、プロユーザーの離反リスクを抱えている。Mac や OS 開発の指向性や仕様変更、NVIDIA と Apple との関係性にも注視が必要である。

四半期業績推移	23/9/1Q	23/9/2Q	23/9/3Q	23/9/9M
売上高 (百万USD)	117,154	94,836	81,797	293,787
当期利益 (百万USD)	29,998	24,160	19,881	74,039
希薄化後EPS (USD)	1.88	1.52	1.26	4.66
中間配当 (USD)	0.23	0.23	0.24	0.70

通期実績推移	2020/9	2021/9	2022/9	2023/9F
売上高 (百万USD)	274,515	365,817	394,328	382,889
売上総利益 (百万USD)	104,956	152,836	170,782	168,437
<b>粗利率 (%)</b>	<b>38.23</b>	<b>41.78</b>	<b>43.31</b>	<b>43.99</b>
営業利益 (百万USD)	66,288	108,949	119,437	113,334
<b>営業利益率 (%)</b>	<b>24.15</b>	<b>29.78</b>	<b>30.29</b>	<b>29.60</b>
当期利益 (百万USD)	57,411	94,680	99,803	95,573
希薄化後EPS (USD)	3.28	5.61	6.11	6.06
PER (倍)	34.27	26.25	24.62	29.10
PBR (倍)	29.17	38.25	47.33	44.03
ROE (%)	73.69	147.44	175.46	166.39

引用 : 企業公表値、ブルームバーグ (9Mは四半期実績累積、Fはブルームバーグ予想値)

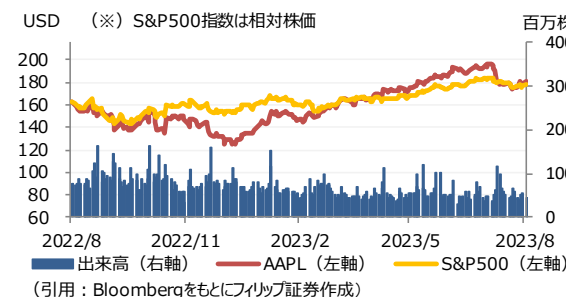
予想配当 (USD)	0.95
株価 (USD)	184.12
実績 PER (倍)	30.94
予想 PER (倍)	30.37
時価総額 (10億 USD)	2,817
企業価値 (10億 USD)	2,821
3ヵ月平均売買代金 (百万USD)	10,549

\* 配当予想と予想PERはブルームバーグ、各数値は8/29日終値による

#### 会社概要

1977年創業のPCを中心としたIT機器販売を行う企業。1980年ナスダック上場。2007年にiPhoneを発売して以降、同製品が収益の柱となる。MacやiPad等の製品ほか、iCloudや動画・音楽の有料サブスクリプション、Appストア手数料を含むサービス事業が収益軸である。

#### 株価推移



23/9/3Q 地域別売上 (百万USD)	QoQ	YoY	
北米・中南米市場	35,383	-6.4%	-5.6%
ヨーロッパ・中東・インド・アフリカ	20,205	-15.6%	4.8%
中国圏 (香港・台湾含む)	15,758	-11.5%	7.9%
日本	4,821	-32.8%	-11.5%
その他アジア (オーストラリア含む)	5,630	-30.7%	-8.5%

23/9/3Q 製品別売上 (百万USD)	QoQ	YoY	
iPhone	39,669	-22.7%	-2.4%
Mac	6,840	-4.6%	-7.3%
iPad	5,791	-13.2%	-19.8%
ホーム・ウェアラブル・アクセサリ	8,284	-5.4%	2.5%
ソフトウェア・サービス事業	21,213	1.5%	8.2%

引用 : 企業公表値

新製品・サービスなど	カテゴリ	発表	発売
Apple Vision Pro	ウェアラブル	23/6	未定
Mac Pro	PC	23/6	23/6
Mac Studio	PC	23/6	23/6
MacBookAir	PC	23/6	23/6
MacOS Sonoma	ソフトウェア	23/6	未定
iPadOS 17	ソフトウェア	23/6	未定
tvOS 17	ソフトウェア	23/6	未定

引用 : 企業プレスリリース

利益還元推移	20/9	21/9	22/9
自社株買い総額 (百万USD)	72,500	171,000	90,200
DPS (USD)	0.75	0.80	0.87
配当利回り (%)	0.72	0.60	0.60

引用 : 企業公表値、ブルームバーグ (Fはブルームバーグ予想)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 三角 友幸

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。